



英国地域劇場事情～イギリスの地域劇場レポート～
#3 ウェスト・ヨークシャー・プレイハウス(1)



北部イングランドの国立劇場と称される当館は、コミュニティ・プログラムを経営の大きな柱として素晴らしい事業を展開しています。最初に見学したのは、ヘイデイズ (haydays) というプログラム。55歳以上が対象で、歌、ドラマ、絵画、工芸その他18のプログラムが1日の中で並行して開催されています。講師はプロのアーティスト。毎期末に1日かけてすべてのプログラムの発表会、展示会を行い、展示作品は販売し売り上げは市に寄付されます。参加者は高齢者者がかなり多く、そして皆元気で笑顔にあふれています。車いすの人たちも結構多いようです。

ヘイデイズの考え方の根底にあるのは、文化プログラムを通して地域の住民を孤立させないということ。ドラマのクラスでは、懐かしのポピュラー音楽を題材に、物語を創作していました。セリフに耳を傾けると「若いころの恋愛、懐かしい思い出、素敵だったダンス、今君はどこで何をしているのか」といった言葉が聴こえてきます。恋、愛は永遠のテーマ。お年寄りたちの声の中から青春期の切なさが滲み出ているように感じられました。

写真：ドラマのコース、お年寄りのアイデアから劇を制作中
画えぞこホール ☎ 52-3004 URL <http://www.ezuko.com>



ミックスマムル



レシピ担当
吉田澄子さん
(中島町区)
彩りよ、ゴマ油とニンニクの風味がきいたあえ物です。ネギやニンニクの薬味をきかせておいしく食べられます。野菜で元気になる一品です。

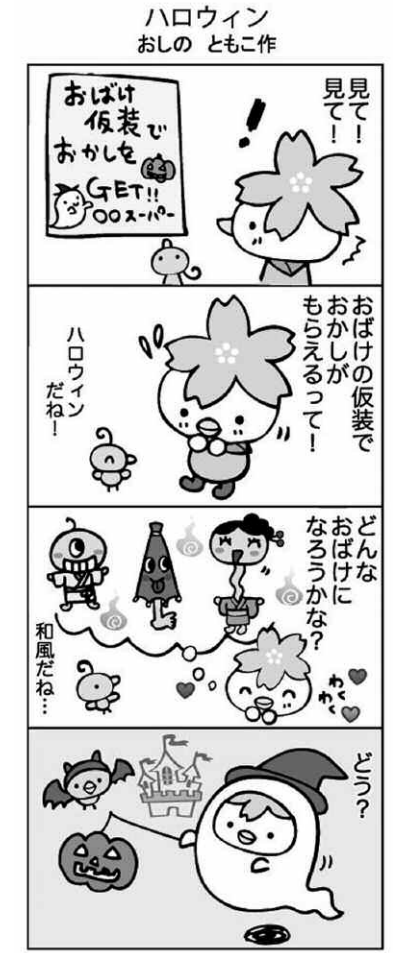
【材料(4人分)】(写真は1人分)
ホウレンソウ200g、モヤシ200g、ニンジン100g、調味料(ニンニクすりおろし)少々、長ネギ(みじん切り)大さじ2、すりゴマ(白)大さじ2、ゴマ油大さじ2、しょうゆ小さじ½、塩小さじ½

【作りかた】
①ホウレンソウは色よくゆでて水にさらし、水気をしっかりと絞ってから4cm長さに切る。
②ニンジンは千切りにしてもよしと一緒にゆで、ざるに取って水気を切る。

【データ(1人分)】
■エネルギー/109kcal
■塩分/1.1g

平成26年度大原町食育スローガン「家族で野菜のおかずをひと皿増やそう」

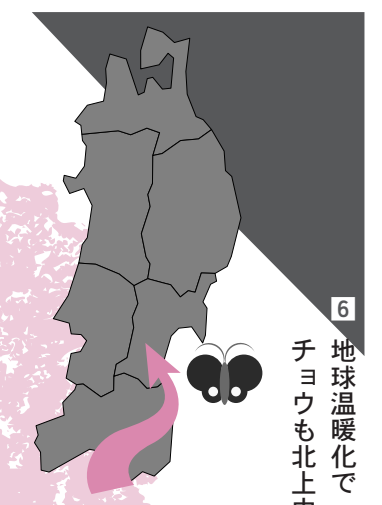
さくら、きー♡



大河原町観光物産協会HP上で連載中
<http://www.oogawara.com>

この夏、町内の小山田でモンキアゲハというチョウが採集されたので、びつくりしました。モンキアゲハはもともと南方系アゲハで、仙台近郊などで数年に一度くらいしか採れない珍しいチョウでした。以前は関東地方が北限だったので、驚いたのです。そのモンキアゲハが今では仙台市や七ヶ浜町、塩釜市、岩沼市など県内各地で見られ、越冬もしているようなのです。町内では今回の小山田が初記録になります。このほかにも数年前ナガサキアゲハが町内で採集されて県内2番目の記録として新聞に載ったことは、皆さんも記憶に残っているかも知れません。いま町内で採ったチョウを図鑑で調べても「東北にはいない」と書かれています。増えてきています。ツマグロヒヨウ

身近な自然再発見
…人間と共生する昆虫たち…



6 地球温暖化で
チョウも北上中!?

モンやウラギンシジミなども北上組の代表的な蝶です。北上しているチョウたちが増えているのに対して、北国のチョウが南下している例はほとんど無いようです。どうやら南方のチョウが暖かくなってきた北国でも暮らせるようになってきているようです。その背景として地球温暖化の影響は無視できません。何でもかんでも温暖化のせいにはできませんが、チョウたちの世界でも温暖化が進んで、ますます北上組が増えてくるのではないのでしょうか。今回は、虫たちの越冬作戦について紹介しましょう。

元金小校長、昆虫教室(町教育委員会主催)講師 鈴木健司さん

わがまち文芸道場

かなかなや君在りし日も亡き今も窓を打つ雨粒に見る台風禍
浅茅生や昔も今も人を恋ひ
門出れば別の風ありさるすべり
青なつめ弁財天の屋根を打つ
秋燕なごりを借しむ橋の桁
弁財天の裸電球そぞろ寒
亡き人の数かぞへをり藤は実に

住みてより六十年の古き家陽射し染みたる解体の朝
あす朝も美しく咲けと夕暮れに夫は芙蓉の花殻を摘む 小成田紀代子
震災に帰らぬ人と話すとう「風の電話」に心痛みぬ 小成田忠雄
二年間単身赴任せし吾子の料理の腕に舌鼓打つ 佐藤昭子
折鶴の七夕飾りにゆれながら空見上ぐれば秋雲流る 菅野美榮子
わがために花盗人となりたる友より受けし今朝の白百合 星 和貴
七十路も半ばになりつくづくこの山越えし母を思ひぬ 加藤倫子
終戦と子どもの悲劇の放映は見るに耐へざり早寝をしたり 丸山ひさ子
階高き院より望む田の面は萌黄となりて穂の出る頃か 大友道子
黒あげははゆずの葉かげに二匹いて卵産む場をさがしておりぬ 小原手ハル
墓地までの坂道いつまで登れるや来るたび思うふり返りつつ 加藤てる
まだ青きムラサキシキブの実を並べ「みんなの分ね」と幼は数ふる 菅井加寿子
豊穣の予感に癒えし馬鈴薯たちよ近隣縁者と幸せ分かたつ 水戸彦次
不夜城となりたる夜のコンビニに吸ひ寄せられること車入りくる 水戸玲子
八月尽草の影いつか秋の色綴れ刺せとぞ間なく聞こえん 本木定子
土盛りするブルドーザーの居並びてかさ上げ工事にもう見えぬ浜 高城和子

【大河原短歌会】
小原啓作
カツオ
啓子
せつ子
智賀
裕枝
芳子
三山

【逢河俳句会】

毎月6人に500円の図書カードをプレゼント!

「ハーモニ」

「トトロとサツキとメイ」

「アリス」

「日下泰地」

「ハロウィン」

「シナモンロール」

今月もたくさん投稿ありがとう。最近兄弟で送ってくれる子が多いね。

だれでもイラストレーター